

龍の寺社を訪ねて～宮彫りの魅力

vol.2

あんこくろんじ
日蓮宗 安国論寺
(鎌倉市)

文：神奈川県探龍倶楽部
代表 上田 康史

江戸時代に花開いた宮彫り一宮大工の彫師の繊細な技術やアート性を文化財・芸術作品として周知・保護する活動を行っている。

鎌倉には約150の寺社があり、各寺社には宮大工の技が集約された建築物が多数あります。

私が調査研究している「宮彫り」、特に「龍の彫り物」の彫刻を向拝・虹梁に施してある寺社は約50以上。その中で今回は鎌倉駅に近く、静かな佇まいの地域、大町にある名刹「安国論寺」を紹介します。

本堂の向拝には、見事な龍の彫り物があります。そしてもう一つ、ぜひ見ていただきたいのは、日蓮上人が「立正安国論」を書いたという庵、「御小庵」の龍の彫り物です。



山門をのぞむ

名前の通り、小さな庵なので、向拝周辺の彫り物の繊細な鑿さばきや透かし彫りという



「御小庵」の龍

匠の技が身近で見られます。

桜の季節、境内の「妙法桜」と一緒に、名工の彫り物を見に、訪れてはいかがでしょうか？

※向拝…社殿や仏堂で、正面の階段上に張り出したひさしの部分。参拝者の礼拝する所

※虹梁…虹形に上方にそり返った梁

日蓮宗 安国論寺

鎌倉市大町4-4-18

☎0467 (22) 4825 拝観料100円(月曜拝観不可)

鎌倉駅東口より徒歩15分